

# べっかい 議会だより

子どもたちの健康を願い、日々給食づくりに励む  
給食センター調理風景

## 特集

町立別海病院元医師訴訟和解金7500万円 ..... 2

別海高校生通学費全額補助に1400万円..... 3

平成27年度予算審議（骨格ながら大型予算） ..... 4

町政のここが聞きたい.....11

一般質問（松原・木嶋・中村・瀧川の4議員）

シリーズ 志を受け継ぐ 給食センターセンター長 佐々木栄典さん .....18

# 73



2015.5.1  
北海道別海町議会



# 町立別海病院元医師訴訟 和解金7500万円

別海病院に採用された元男性内科医師と元女性小児科医師が、別海町および別海病院長を相手に起こした、※分限免職をめぐる2件の訴訟は、3年半にわたり31回におよぶ公判を重ねましたが、今般、裁判所からの和解案を受け入れ、解決金を支払うことで議会が承認しました。

## 裁判の経過

●平成22年11月1日に医師として採用した2人に対し、条件付き採用期間終了後の平成23年5月1日以降正式採用を行わない旨を通告し分限免職処分とした。

●2人の医師はこの処分の取り消しを求め、別海町を相手に、平成23年5月27日釧路地方裁判所に訴訟を起こした。

●さらに2人は、この事件に関し、誹謗中傷および名誉棄損行為など精神的損害の賠償を求め、別海町と別海病院長を相手に、平成25年10月25日釧路地方裁判所に損害賠償請求訴訟を起こした。

## 和解の内容

①2人の医師に対し分限免職処分を取り消す。

②2人の医師が和解の成立日をもって、町立別海病院を円満に退職したことをお互いに確認する。

③別海町は解決金7500万円の支払い義務があることを認める。

④2人の医師に対し、前項の金額を、平成27年4月10日までに支払い、手数料は別海町の負担とする。

⑤2人の医師は和解した内容以外の請求は放棄する。

⑥両者の間にほかに、なんらの債権債務がないことを確認する。

⑦訴訟費用は各自の負担とする。

町長は分限免職処分の理由について、男性内科医師は病院職員とのトラブルで、病院運営に支障が出たこと。

女性小児科医師は職責を果たさなかったこととしています。

議員からは、和解金の妥当性についてや分限免職について、弁護士と相談をしたのかなど質問が出されました。

町は、和解金などについて独自で算定しましたが、今回の提示額が下回り、分限免職については北海道町村会の顧問弁護士に相談し、問題がないと判断した旨を答弁しました。

当時は医師確保に切迫していました。町民に損害を与えたとし、町長の給与30%を1カ月間減給しました。

※分限免職とは  
公務員の的確性を欠くとして、職を一方的に免じ身分を失わせる処分。

## 除雪費過去最高 3億1000万円

昨年12月からの度重なる暴風雪で、釧路管内に大きな被害が発生し、当町でも基幹産業の農林漁業をはじめ私生活にも影響が出ました。

今年度の暴風雪の特徴は、発達した低気圧が次から次と北上し、道東沖で台風並みに発達し、長時間停滞したために大雪となりました。また湿った重い雪のため牛舎・ハウスなどの倒壊や強風で屋根が飛ばされる被害が各地で発生しました。

町道も雪の量が平年の2倍にもなり、各地で吹きだまりができ、道路幅一車線を確保するのに大変な状況でした。

町ではロータリー車などの除雪車をフル出動させ、町民の生命線である道路確保に努めました。

このため、当初予算の除雪費1億円に補正・予備費総額で2億1000万円増額し、過去最高の3億1000万円の除雪費となりました。

今後とも気象の変化が予想されます。来年度以降の除雪体制や避難体制などの見直しが必要になると思います。



町道除雪中のロータリー除雪車



# 第1回 定例会

3月5日～12日開催

第1回定例会は、3月5日から8日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

今回の補正予算に関する事業、経費名、補正額および予算総額は右表のとおりです。歳入では、地域住民生活等緊急支援交付金、畜産競争力強化緊急整備事業補助金、校舎等整備事業債などから、約13億2000万円の大幅な予算の増額となりました。



今年度から通学費が全額補助される

## 別海高校生通学費 全額補助に1400万円

住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、

別海高校生通学費の全額補助、私立幼稚園への利用者負担差額の助成、プレミアム付商品券発行補助などに使

われます。また、築後40年以上経過し老朽化が著しい中春別中学校屋体の耐震改修が行われます。公営住宅事業では、老朽化が著しい新西春別駅前団地を、長寿命化計画に基づき、5力年をかけて整備を行います。

また畜産競争力強化緊急整備事業では、道東あさひ畜産クラスター協議会への補助金として、畜産やサイロ、農機具購入などの整備に使われます。今回の補正予算に和解金・除雪費の補正予算を含めると26年度の一般会計総額は、17億2360万円となりました。なお補正予算の事業実施は27年度に行います。

## 平成26年度 補正予算概要

### ■一般会計の主な補正（歳出）

○消防車等購入事業	1億6009万円増額
○別海高等学校教育支援事業	1400万円増額
○地方版総合戦略策定事業	950万円増額
○認定こども園等利用者負担助成事業	2700万円増額
○消費喚起プレミアム付商品券発行事業	5200万円増額
○臨時福祉給付事業	4028万円減額
○畜産競争力強化緊急整備事業	6億6688万円増額
○基盤整備促進事業（富岡南地区）	3030万円増額
○公営住宅等整備事業	7928万円増額
○中学校建物耐震改修事業（中春別）	4億4728万円増額

### ■一般会計の主な補正（歳入）

○町税法人分等	2294万円増額
○特定防衛施設周辺整備調整交付金	1億5018万円増額
○地域住民生活等緊急支援のための交付金	7470万円増額
○畜産競争力強化緊急整備事業補助金	6億6688万円増額
○学校環境改善交付金	4947万円増額
○公営住宅建設事業債	5110万円増額
○校舎等整備事業債	3億2750万円増額

### ■国民健康保険特別会計の主な補正（補正第2号）（歳出）

○保険給付費	957万円増額
○共同事業拠出金	2732万円減額
○償還金	2651万円増額

### ■下水道事業特別会計の主な補正（補正第3号）（歳出）

○下水道施設費	241万円減額
○集落排水施設費	2383万円減額

### ■介護サービス事業特別会計の主な補正（補正第2号）（歳出）

○介護サービス事業費	590万円減額
------------	---------

### ■介護保険特別会計の主な補正（補正第2号）（歳出）

○保険給付費	1980万円減額
○地域支援事業費	367万円減額

### ■後期高齢者医療特別会計の主な補正（補正第1号）（歳出）

○後期高齢者医療広域連合納付金	483万円減額
-----------------	---------

### ■病院事業会計の主な補正（補正第1号）（収益的支出）

○給与費	1億2616万円減額
------	------------

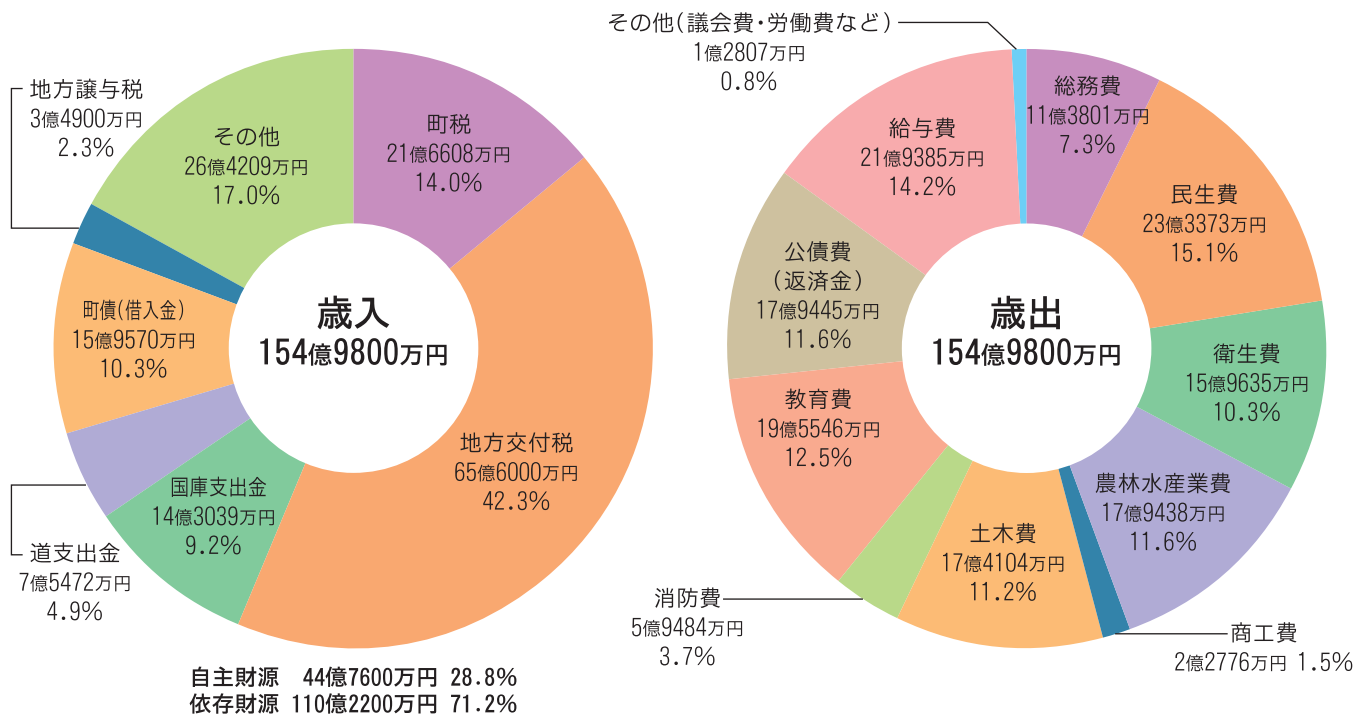
### ■水道事業会計の主な補正（補正第3号）（収益的支出）

○水道事業費用	2423万円減額
---------	----------

# 平成27年度予算決まる

今年度当初予算は骨格ながら

昨年度とほぼ同規模の大型予算



<b>各会計予算総額</b>	<b>248億7300万円</b>
<b>一般会計</b>	<b>154億9800万円</b>
<b>特別会計</b>	<b>53億8900万円</b>
<b>企業会計</b>	<b>39億8600万円</b>

## 特別会計予算

国民健康保険…… 29億7000万円  
 下水道事業………6億7200万円  
 介護保険サービス事業…4億9200万円  
 介護保険……… 11億 700万円  
 後期高齢者医療………1億4700万円

## 企業会計予算

病院事業会計…24億8600万円  
 水道事業会計…14億9900万円  
 (企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額です。)

## 一般会計に対する反対・賛成意見

(賛成14名 反対2名)

**反対** 中村忠士議員

①広域地方税滞納整理機構の機械的な対応は滞納問題の真の解決にはつながらない。  
 ②介護・医療など住民負担が増加の一途をたどっているが、町は財政調整基金活用など積極的な姿勢を取りきれていない。  
 ③昨年は「国際家族農業年」だった。当町は離農が収まらず危機感が乏しい。施策を早急に打ち立てるべきだ。  
 ④漁業・酪農の発展に欠かせない森林整備の将来展望が示せていない。  
 ⑤焼却ごみ処理施設は今後老朽化で補修費も嵩むと考える。基金積立など課題解消が必要だ。  
 ⑥ふるさと交流館は策定した保全計画があるにも関わらず当初予算で示されていない。以上を指摘し反対とする。

**賛成** 安部政博議員

一般会計予算は骨格ながら、第6次総合計画達成に向けた積極的な予算だと考える。  
 地方交付税の減額が見込まれ、町税の伸びも期待できない状況下での予算編成だが、地域子ども・子育て支援事業、家畜ふん尿貯留施設整備事業、自主防災組織育成事業、中学校校舎改修事業など多岐にわたる事業経費が計上されている。

また別海高等学校教育支援事業は、間口減の解消を目指しての取り組みが評価されることである。  
 財政調整基金からも繰り入れされているが、将来を見据えた行政改革と、健全な財政運営の取り組みがなされることを期待し、賛成とする。

# 別海町で開催 日本ハム vs 巨人戦 イースタンリーグ運営費補助計上

新年度予算が審議される第1回定例会で、議員全員による予算審査特別委員会（松原政勝委員長）が設置され、本会議に提出された平成27年度予算案が、3月10・11日の2日間にわたって1項目ごと慎重に審査されました。



生体捕獲実施中のエゾシカ用囲いワナ（野付半島）

## エゾシカ被害対策事業

金額 5027万円

増え続けるエゾシカ個体数調整捕獲。（4000頭を捕獲予定）



子どもたちが放課後を過ごす別海中央児童館

## 放課後児童クラブ事業

金額 615万円

別海、西春別の2放課後児童クラブ運営費補助の目的で出されま



老朽化が著しい本別海へき地保育園

## 本別海へき地保育園改築事業

金額 700万円

建て替えに向け実施設計が予定されています。



老朽化が著しい上西春別中学校現校舎

## 上西春別中学校防音事業

金額 4億3328万円

校舎防音改築により、良い学習環境が整います。



現在稼働中の業務用充填機

## 酪農工場整備事業

金額 4135万円

機械の老朽化により牛乳等殺菌機・業務用充填機改修など予定しています。



イースタンリーグが開催される町営球場

## 日本ハムファイターズ イースタンリーグ開催事業

金額 600万円

日本ハムファイターズを応援するため運営費補助が組まれました。試合は6月に予定されています。

## その他の主な事業

**バス待合所トイレ改修事業**  
（中春別バス待合所トイレ洋式化）

金額 130万円  
男女各1箇所

**森林環境保全整備事業**  
（造林・除間伐・枝打ち・下刈ほか）

金額 5239万円

**消防車両整備事業**  
（水槽車更新 2台）

金額 9643万円

**沿岸漁業振興対策事業**  
（ニシン種苗栽培・放流補助ほか）

金額 1536万円

**社会保障・税番号制度システム整備事業**  
（マイナンバー制度に伴うシステム改修）

金額 2183万円

**ふれあいキャンプ場広場整備事業**  
（危険遊具の撤去・新設・補修）

金額 585万円

**老人福祉施設整備事業**  
（特養・デイ建設償還金補助）

金額 1億1742万円

**友好都市少年少女ふれあいの翼交流事業**  
（枚方市友好都市交流派遣事業）

金額 281万円



# 別海高校の寄宿舎、ロータリー車の導入などを審議

▼社会保障・税番号制度システム整備事業では確実に個人の情報が守られるか。

▼平成25年度5月に番号制度に関する法律が施行したことに伴い、すべての市町村が取り組むという内容で、情報保護という点に関しては町として対策を講じていきたい。

▼別海高校の寄宿舎の検討状況はどのようになっているか。

▼広域な地域をカバーするための寄宿舎作りなど急いで検討し、早い時期に結論を出してすすめていきたいと考えている。

部活バス（現在4路線）については、バス路線を増やすのがいいの、あるいは寄宿舎整備がいいのか、部活が十分できるような形を検討していきたい。

▼ごみ焼却施設では、これから出費が高まることから、自治体独自で基金を積み立てるところも出ているが、町としての考え方は。

▼広域連合としては基金を作るのは難しいと判断している。町としても現在基金の予定は立てていない。

▼地域貢献中小企業支援事業の内容は従来どおりか。

▼増築、新築に伴い、省エネ基準に適合しているものに対して上限50万円を補助する。補助率、基準など変更はない。

▼低気圧被害で流出した、野付半島の木道の今後の対策はどのようか。

▼道の所有である木道は何回も流されており、

ダイヤモンドピア工法を採用したい意向であるが、1億円以上かかるということ、道としても苦慮していると聞いている。

町としては道に対し、早急に予算措置していただけるよう、取り組んでいきたい。

▼ふるさと交流館の修繕費や器具費は比較的低い金額で計上されているが。

▼修繕費、器具費などは協定書で10万円を超えるものについては町が負担ということで、想定して予算計上している。

▼天候の変化による大雪が続いた。除雪体制の見直しは。

▼ここ何年か、大雪が頻繁に起きている状況を見て、除雪費用、除雪体制の見直しの検討

が必要と考えている。

▼ロータリー車がなければ除雪作業が進まない状況が見受けられる。今後購入の検討は。

▼町と民間に1台ずつ大型ロータリー車がある。小型は3台で街中の歩道の除雪をしている。

また、民間で大型ロータリーを購入することになっており、契約させていたきたいと考えている。町での購入

は高価でありこれから検討が必要だと考えている。

▼スポーツ団体派遣の全道・全国の補助基準は。

▼限度額を設け、公共交通機関、JR利用での積算として、実費補助としている。選手については1泊5000円の補助も出している。

▼介護職員の初任者研修は、別海高校生が受講したい場合、全額補助にし、当町に留まり働いてもらうという考えはないか。

▼高校生に当町に職を求めたいと、検討していき

たい。



現在使用中の除雪トラック、今年更新予定

## 平成27年度別海町介護保険特別会計予算の討論

(賛成14名 反対2名)

### 反対

瀧川榮子議員

1号被保険者に対し低所得者軽減強化が図られています。第1から第9段階まで保険料は下がっていません。

合計所得金額で保険料が変化しますが、現状のままか階層によって高くなります。

所得段階を細かく分けて保険料を決めることは大切ですが、前年対比約8000万円の増は保険料の改正によるものです。

福祉の充実を実感しないまま今回の値上げで支払い困難になる可能性があります。料金変更には反対します。

### 賛成

戸田博義議員

この件については法の改正により、福祉医療常任委員会でもいろいろ、今言われたような議論も出しました。

低所得者に対する配慮、いろいろな面での町の施策などが、十分にこの改正のつとめていると、このような判断をしているので、高齢化社会になった現在、多少の値上げなどはやむを得ないというようになことだと判断しているところです。

以上のことから賛成討論とします。

## 国に意見書を提出しました

### ◆農協関係法制度の見直しに関する意見書

提出者 戸田 博義 議員  
他4名

JAグループ北海道の自己改革が尊重され、地域農業・農村の持続

的発展をはかるため左記のとおり要請します。

1 食料の安定供給、地域の振興について農協法の目的を明確に位置付けし、事業目的の見直しにあたっては、協同組合の基

本的性格を維持すること。

2 準組合員は農業や地域経済の発展をともに支えるパートナーであり、「地方創生」のためにも、準組合員の利用制限は行わないこと。

3 JA・連合会の協同組合としての事業・

組織を制約する一方的な事業方式、業務執行体制、法人形態の転換は強制しないこと。

### ◆TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

提出者 戸田 博義 議員  
他4名

政府に対し、十分な情報提供とTPP協定が地方経済や国民生活全般に与える影響などについて説明を求めました。

改めて左記のとおり要請します。

1 政府は平成25年4月の衆参両院農林水



今後もTPP交渉の行方が注目されている

産委員会における決議を遵守し、できない場合は、TPPから脱退すること。

2 EPA・FTAなどのすべての国際貿易交渉において、重要品目の関税など、必要な国境措置を維持すること。

### ◆農業委員会改革に関する慎重な議論を求め意見書

提出者 安部 政博 議員  
他5名

農業委員会制度・組織のあり方を見直すに当たり、左記の事項を強く求めます。

1 農業委員の選出については、公選制に匹敵した透明性の高い選出プロセスによる代表制を担保すること。

2 委員の柔軟性のある定数基準を。また、農地利用最適化委員については、

弾力的な適用が可能となる仕組みを。

3 全国段階の組織については、行政庁への建議を行うネットワーク組織として、法律に基づくものとする。

### ◆少人数学級の取り組みの充実・強化及び教職員定数等の改善を求める意見書

提出者 松原 政勝 議員  
他4名

少人数学級には、子どもたちの学習意欲の向上や、きめ細やかな指導による学力向上などの効果が見られる。

地域の教育課題に対応するための基礎定数の改善を含む、長期的な視点に立った教職員の質と数の向上など一体的な取り組みを国の責任で強化することを強く要望する。

**条例を一部改正・制定・廃止しました**

◆別海町債権管理条例  
町の債権の管理に関する事務処理について、公正かつ円滑な行財政運営に資する目的で制定しました。

◆別海町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例  
子ども・子育て支援法および子ども子育て支援法施行令に基づき制定しました。

◆別海町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担などに関する条例  
子ども・子育て支援法に基づき、支給認定保護者または扶養義務者が負担すべき費用について必要な事項を制定しました。

◆別海町地域包括支援センターにおける包

括的支援事業の実施に係る人員などの基準に関する条例  
介護保険法に基づき、包括的支援事業の実施に係る人員など基準を制定しました。

◆別海町指定介護予防支援などの事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援などに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する条例  
介護保険法の規定に基づき、介護予防のための基準を制定しました。

◆別海町職員給与に関する条例の改正  
別海町職員給与に関する条例の改正

◆別海町介護保険法の改正  
別海町介護保険法の改正

◆別海町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正  
別海町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正  
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

◆特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の改正  
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の改正

町長の給与月額を、平成27年3月28日から1カ月以内に限り、100分の40に相当する額を減じました。

◆別海町農業団地センター兼農業者トレーニングセンター設置条例の廃止  
別海町農業団地センター兼農業者トレーニングセンター設置条例の廃止

減じました。

◆別海町職員給与に関する条例の改正  
別海町職員給与に関する条例の改正

◆別海町介護保険法の改正  
別海町介護保険法の改正

◆別海町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正  
別海町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正

◆別海町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正  
別海町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正

◆別海町介護保険法に基づく、介護予防のための効果的な支援の方法に係る条例の改正  
別海町介護保険法に基づく、介護予防のための効果的な支援の方法に係る条例の改正

◆別海町農業団地センター兼農業者トレーニングセンター設置条例の廃止  
別海町農業団地センター兼農業者トレーニングセンター設置条例の廃止

◆別海町農業団地センター兼農業者トレーニングセンター設置条例の廃止  
別海町農業団地センター兼農業者トレーニングセンター設置条例の廃止

**委員の選任に同意しました**

◆人権擁護委員  
人権擁護委員

藤原優子さん（中春別）が推薦されました。任期は3年間です。



藤原優子さん

辺好之さん（標津町）が再任されました。任期は4年間です。



渡辺好之さん

◆別海町固定資産評価審査委員会委員  
前任者の辞任により丸山哲郎さん（西春別駅前）が選任されました。任期は1年6ヶ月（前任者の残任期間）です。



丸山哲郎さん

**別海町介護保険条例の一部改正に関する討論**

（賛成14名 反対2名）

**反対**

瀧川榮子議員

条例改正の内容は保険料の負担増です。別海町の第6期介護保険事業計画素案の中にある、平成27年度の65歳以上の人口は3768人です。

所得に応じて値上げされる金額の合計は、平成27年度介護保険特別会計予算書では、8000万円です。また、低所得者軽減

強化が見られますが、3768人で約8000万円の負担増は大きな金額です。この値上げは、国の方針が前提であり、また町の介護サービス利用者負担の軽減に対する条例があることも充分承知してます。しかしながら、保険料の負担増は、支払える金額から遠ざかる料金変更であることから反対討論とします。

**賛成**

松壽孝雄議員

団塊の世代が75歳となる平成37年度を見据え持続可能な介護保険事業の確立を図るとともに、地域包括ケアシステムを構築し「介護時代」を乗り切るためのものです。また、高齢者が安心して地域での生活を送るためにも、必要な事です。以上の考えから賛成討論とします。

また、高齢者が安心して地域での生活を送るためにも、必要な事です。以上の考えから賛成討論とします。



# 議案の審議と結果

各議案の採決結果 第1回定例会（3月5日～12日）		木	松	森	今	西	沓	小	安	瀧	山	松	戸	戸	中	佐	安	渡	採決結果
		嶋	壽	本	西	原	澤	林	部	川	田	原	田	田	村	藤	田	邊	
		悦	孝	一	和	昌	敏	政	榮	信	勝	義	悦	忠	初	輝	政	吉	
		寛	雄	夫	雄	浩	廣	之	博	子	信	勝	義	悦	忠	初	輝	政	吉
議案第1号	平成27年度別海町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	可
議案第2号	平成27年度別海町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第3号	平成27年度別海町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第4号	平成27年度別海町介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第5号	平成27年度別海町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第6号	平成27年度別海町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第7号	平成27年度町立別海病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第8号	平成27年度別海町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第9号	平成26年度別海町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第10号	平成26年度別海町一般会計補正予算（和解金）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第11号	平成26年度別海町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第12号	平成26年度別海町下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第13号	平成26年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第14号	平成26年度別海町介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第15号	平成26年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第16号	平成26年度町立別海病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第17号	平成26年度別海町水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第18号	別海町債権管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第19号	保育の認定を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第20号	特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第21号	包括的支援事業に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第22号	介護予防支援等を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第23号	行政手続条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第24号	特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第25号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第26号	教育長の給与及び旅費、勤務時間に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第27号	別海町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第28号	別海町立保育園設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第29号	介護保険条例を改正する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第30号	地域密着型サービスの基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第31号	地域密着型介護予防サービスの効果的な支援の方法に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第32号	小林清吉賞基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第33号	水沼徳一郎基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第34号	別海町下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第35号	就学指導委員会設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第36号	町立幼稚園設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第37号	農業団地センターを廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第38号	町有財産の無償譲渡について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第39号	根室北部消防事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第40号	葬斎組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第41号	辺地の公共的施設の総合整備計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第42号	町道の路線認定及び廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第43号	和解及び損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第44号	平成26年度一般会計補正予算（除雪費）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○原案賛成 ●原案反対 ※議長は可否同数の場合に決裁権がある

# 議会広報モニターとの意見交換会開催

去る2月10日、議会広報モニターの皆さんとの意見交換会を開催しました。当日はあいにくの悪天候の中でしたが、櫻井理さん、加藤泰和さんに参加をいただき、議会だより、議会報告会、議会改革や町政全般について意見交換を行いました。

**広報**  
「議会だより」に関して普段感じていることは。

**櫻井**

以前はかしこまった感じでしたが、今は親しみやすく、レイアウトを含め読みやすくなっていると感じます。

難しい言葉には注釈があります、さらにお願したいと思いません。

表紙の写真も各職場の動きのあるものでもよいと思います。



櫻井 理さん

**加藤**

地域の課題など町民の皆様幅広く知っていただくためには、議会

での質問内容が簡潔にまとめられており、関心を持って読めるなど思いました。

ただ、もう少し詳しく知りたい場合に、問合せ先などつながりを示してもらえると、議会への問い合わせや意見を寄せやすくなると思います。



加藤 泰和さん

**答え**

広報委員は東京での広報研修会に2年に1度参加しています。

クリニックもあって、議会だよりに対し様々なアドバイスを受けることができます。

また、記事の内容についてさらに詳しく知りたいという人に対応

する取り組みはとても大切であると考えます。

**広報**

議会報告会は、4年間

で町内の小中学校のある市街地を全部回ること企画してきました。来場者が限られてくる傾向があり、ご意見がありましたらお願いします。

**櫻井**

難しい問題です。議会で話し合われている話題にもよると思います。

**加藤**

協働のまちづくりにより、住民が担うべき活動も増えてくる中で、議会の動きと自分の接点があれば、興味を持つことができます。

**広報**

議会活性化では、議員定数の削減、議員報

の増額を行い、広報広聴常任委員会の設置や議会モニター設置などを進めようとしています。

**櫻井**

定数を削減し、報酬を上げて、少数精鋭でやったらよいと考えていました。

**加藤**

活動しなければ情報は手に入らないので、報酬と活動費をしっかりと確保し行ってほしいと思います。

**答え**

政務活動費導入も検討しましたが、議論の時間を確保するため、今回は見送りました。

**広報**

町政全般については。

**加藤**

若年層が政治への関心を持ってもらう機会



広報から広聴へ貴重な意見交換が行われる

**答え**

子ども議会は、子どもたちにとって、大人が自分たちの意見を聞いてくれるということを経験できる良い機会です。

お忙しい中、ありがとうございました。

一般質問とは、行政全般について議題とは関係なく議員主導で政策論議できる仕組み。質問内容は事前に通告する必要があり、定例会でのみ行える。持ち時間は一人60分となっている。

# 町政の 「こころ」が聞きたい

第1回定例会では2日目(3月6日)に4議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。  
詳しい議事録は町のホームページに掲載しています。

- 松原 政勝 議員……………12
- 1 高潮浸水対策を早急に実施すべき

- 木嶋 悦寛 議員……………13
- 1 自然を中心に据えた観光政策の推進を

- 中村 忠士 議員……………14
- 1 農業・農協「改革」についての所見を
- 2 教育委員会の改変が行われたが、教育の独立性は守られるか

- 瀧川 榮子 議員……………15
- 1 国保税減免対象の範囲拡大は

## 議会を傍聴された方にインタビュー

一般質問の傍聴に訪れた方にお話を伺いました。

【お話を伺った方】西村 稔さん

**広 報**…傍聴された感想は？

**西 村**…議会には良く傍聴に来ていますが、傍聴者の少なさにびっくりしています。議会だよりでは読み取れない質問や答弁の内容を知ることが出来るいいチャンスだと思います。

**広 報**…議会や議会だよりに対する要望などありますか。

**西 村**…議会の日程など広く知らせる必要があるのではないのでしょうか。議会だよりはもう少し、詳しく書かれているといいなと感じます。



西村 稔さん

**広 報**…議会モニターの皆さん、傍聴にお越しくださいました皆さん一年間ありがとうございました。

議会の日程の周知方法については、今後改善していきたいと思っています。



松原政勝議員



松原議員

## 高潮浸水対策を 早急に実施すべき

町長 迅速な情報の収集と  
整備計画を検討していく

質問

12月17日発達した低気圧により、根室地方で顕著な高潮が発生し、建物の浸水被害など、海岸地区は大きな被害が出た。その後も1月2月3

水沼町長

月と週末毎に発達した低気圧が道東を直撃した。浸水被害を受けた地域住民は不安な日々を過ごしている。地域住民の安全は町として責任があり、早急な対策をとる必要がある。

昨年12月の高潮災害以降については釧路地方気象台など関係機関で行っている現地調査のデータをもとに、



昨年12月の低気圧による越波（床丹地区）

質問

常に最悪の状況を想定しながらその対策に当たっている。潮位から地域の浸水を予測するシステムを導入し、現在2カ所ある潮位計を海岸4地区に設置して迅速な情報の収集等整備計画を検討していく。

被害を受けた地域に町として高潮浸水防止対策として土のうを積むとか住宅周辺への浸

水防止策をする考えはないか。

水沼町長

今後の対策について、有効なあくまで応急措置ではあるが対策を検討していきたい。

質問

当町の海岸は従来から保全事業を進めて来たが、海岸保全として設置された消波堤ブロック、離岸堤など、ほとんどが沈んでしまい、その役割の効果が失われている。海岸保全の見直しが必要である町として、道や国に緊急要請が必要である。

水沼町長

沿岸の漂砂の減少と台風や低気圧の波浪により海岸浸食が進み、背後地に越波をまとも受ける深刻な状況は認識をしている。実施主体である北海

道に対し、毎年、突堤や離岸堤の設置、かさ上などの整備要望をしている。

また根室管内一市四町で構成している根室地方総合開発期成会で、特に野付崎海岸、走古丹海岸を重点要望箇所と位置づけ、予算の確保、財政支援を強く要請している。

質問

海岸保全を再構築しなければ、地域の安全、漁業の継続が心配される。

低気圧が発達し道東に接近すると、防潮堤を越波し住宅地に浸水してくる。

特に床丹地区からはこれからの

生活が不安である、早く何とかして欲しい、と切実な訴えを聞かされている。

水沼町長

当町の基幹産業の一端を担う漁業、これからも継続的に発展していく、何よりも地域住民の安心安全な生活ができる環境をつくっていくことが行政の使命と考えている。



床下浸水した床丹会館

木嶋議員

# 自然を中心に据えた 観光政策推進を

町長

## 野付半島の素晴らしさを 世界に向け積極的に発信したい

質問

自然を中心に据えた観光政策を推進することにより、より明確な観光のビジョンを打ち出せると考える。

昨年11月に千葉県で開催されたジャパンバードフェスティバルに当町は初出展したが、成果と今後観光への生かし方は。

有田産業振興部長

野付半島は、日本で確認されている野鳥の約40%に当たる235



木嶋悦寛議員

種類が確認されている野鳥の宝庫だ。

ジャパンバードフェスティバルは、鳥をテーマとした日本最大のイベントで、行政、旅行会社、光学機器メーカーなど約90店が出展しており、野鳥愛好家や旅行会社などへ野付半島の野鳥をPRできたと考える。

冬季に落ち込む観光客入り込み数の増加に結びつくものと期待している。

水沼町長

野付半島のすばらしい環境を世界中に発信していくために、知恵を出し合い、積極的に取り組んでいきたい。

質問

昨年12月、当町は東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに参加した。

根釧地域の広域連携など、どのようにして観光につなげるのか。

有田産業振興部長

根釧管内でこのネットワークに参加しているのは、風蓮湖、春国岱、釧路湿原、琵琶瀬湾、霧多布湿原、厚岸湖、別寒辺湿原である。

広域連携や観光への取り組みは、今後検討していきたい。

質問

現在、根室圏域内の数力所で行われているフットパスは、全てをつなぐことで、新たな観光資源として期待される。

実現に向け、行政としての積極的支援を行う



冬季間、間近に観察できる天然記念物のオオワシ野鳥ファンでなくともその勇姿に魅了される

てはいかがか。

有田産業振興部長

旧標津線跡地の整備は国の補助を活用したり、町が整備費を支援をしている。

旧標津線跡地がフットパスとしてつながることによる誘客効果は不明確であるが、今後各地域の活動や取り組みを注視し、支援できるところは支援したいと考える。

質問

観光情報の受発信に町として公式にSNSの活用を考えては。

水沼町長

SNSの活用について、観光協会がフェイスブックによる情報発信を行っている。

今後、町としてSNSの活用に向けたの運用基準などを整備して、観光情報にとどまらず、活用について検討

討したいと考える。

質問

今年野付半島、野付湾、風蓮湖、春国岱がラムサール条約の登録湿地となって10周年となる。

全町民がラムサール条約登録湿地を擁する町に住んでいることに誇りを持つような取り組みが必要であると考えが。

水沼町長

当町では平成18年から湿地に流入する河川および湿地の環境保全活動の推進と住民意識啓発の目的で延べ44団体に環境保全啓蒙活動交付金を交付しており、継続したい。

また、ラムサール条約10周年に向けた記念の行事を行い、ラムサール条約登録湿地の価値、さらには別海の自然の価値をしっかりと発信して住民に知ってもらおう。



中村忠士議員



**中村議員** 農業・農協「改革」についての所見を

町長 地域の実情を配慮するよう強力に要請する

**質問** 政府は農業・農協の改変法案を今国会に提出しようとしている。1に、農業委員の公選制廃止、委員定数の大幅削減、建議を業務から外すことなどが盛り

込まれている。

**水沼町長**

代わりになる制度がつくられ、農業委員会としての重要な機能が大きく損なわれるというのではないと考えているが、各地域の実情、環境は違う。

それを一律に法律として定めるのはいかかかというのはそのとおりで、地域の実情を配慮した法律として成立させるよう訴えていく。

**質問**

2に、農地を所有できる法人の改変だ。規制を緩和し、農地をどのように使ってもいいということになる。農地に對する農民・耕作者の地位を崩し、農外者の支配的地位を確立しようとするものだ。

**水沼町長**

法人要件の緩和によって、企業が経営に大き

な影響力を持つことが可能になる。経営方針をめぐって現場で混乱が生じないか大変懸念している。

崩壊する。単協の崩壊も招きかねない。

性化につながるとは言えない。地域の実情を配慮するよう国に強く要請していく。

**質問**

3に、株式会社化、単協からの信用・共済事業の切り離しなど農協の改変だ。

公正取引委員会と農水省が行った、販売・購買事業についてのヒアリングでは「独禁法」に廃止する必要はないと結論を出している。

**質問**

TPPについては、

**中村議員**

**教育委員会の改変が行われたが、教育の独立性は守られるか**

町長 教育委員会の方針を尊重し教育の向上に努める

**質問**

法律で教育委員会の改変が行われた。1に、委員会責任者の教育委員会委員長を廃止し、首長が任命する教育長を委員会の責任者とする。2に、総

合教育会議を設け、さらに教育に関する大綱を首長が策定すること

によって、首長が直接教育問題に介入できるようにする。旧来のシステムに問題があったから改変す

**真籠教育長**

現行法のもとで問題はなかった。学習会開催、学校訪問、公開授業や各種研修への参加など積極的に活動してきた。新制度においても、変わることなく活発に進めて

**質問**

いくものと考えている。教育には、行政からの独立が担保される必要がある。

**水沼町長**

政治的中立性は確保される。

これまで同様、教育委員会の方針を尊重し、子どもたちのために協働して教育の向上に努めていく考えである。



JAの貯金業務は、地域の金融機関として大切な役割を果たしている



瀧川議員

## 国保税減免対象の 範囲拡大は

総務部長 調査・研究し基準を示す

### 規則の制定検討する

質問

平成27年度から※保険財政共同安定化事業1円化が始まる。国保の当初予算は4億6000万円多く計上され、その多くがこの事業によるものと聞いている。国保税の値上げにつながるのか危惧されるが。

竹中福祉部長

保険財政共同安定化事業は市町村の国保税政安定化を図るため、平成18年に創設された。



瀧川榮子議員

各保険者からの拠出

金を財源として、対象となる医療費の額に比べて交付と拠出が行われる。制度創設時から拠出金が交付金を上回る当拠出超過が当町では続いていた。平成27年度予算編成過程では制度改正に基づき示された概算額は交付金が拠出金を5000万円ほど上回ると通知された。

質問

町では18年から8年間で、拠出金のオーバーが4億5400万円だった。こうしたことを考えると、本当に500

0万円が交付されるのか危惧するが。

竹中福祉部長

町として、算定根拠、算定方法を確認したいと思っているが、その裏づけを確認できるところまではいっていない。

質問

住民、被保険者にとって大切なことは、支払



医師の説明を受ける患者さん

佐藤総務部長

低所得者への軽減制度として、地方税法による軽減や非自発的失業者への軽減などを当町もやっている。平成26年度からは世帯の判定所得基準の見直しにより、軽減対象の拡大が図られている。

質問

国保税の減免については、1、天災や他特別の事情。2、貧困により生活のため公私の扶助を受ける者。3、特別の事由がある。内容については条例で定める必要があり、慎重に対応せざるをえない状況がある。

今後、減免の内容や適用状況について調査・研究し、減免の事由、減免の範囲、割合など一定の基準を示す規則の制定や町民への周知方法についても検討していく。申請書類についても、一緒に調査・研究していく。

### ※保険財政共同安定化事業とは

保険者間の保険料平準化と財政の安定を目的に導入され、対象となる医療費はレセプト1件当たり30万円以上80万円未満であったものが、法令改正により1円以上となった。

# 各常任委員会の うごき

第4回定例会から第1回定例会の間に行われた各常任委員会の活動について概要をお知らせします。

## 総務文教 常任委員会

委員長 松原 政勝

### 海岸3避難諸施設の 現地視察

1月29日、海岸3避難所施設の現地視察を実施しました。

町が行っている防災施設などの整備計画の概要や、自家発電施設および防災倉庫整備、食料、水、毛布などの備蓄品の状況について、総務部防災交通課より説明を受けました。

当町の地域会館の中で管理人が常駐する会館については、町の指定避難所としています。近年の避難所の開設状況は、暴風雪災害による帰宅困難者対応のためや、海岸地区の津波や高潮などの災害



暴風雪により折れた電柱

によるものが主な開設理由となっています。主要道路の通行止めによって避難所開設期間が長期化していることや、電線への着雪で停電が発生して避難所としての機能が低下することが懸念されています。

このため平成26年度から2年計画で、自家発電装置（発電機）設置や、備蓄資機材を保管するための防災倉庫設置にも着手しているところですが、委員より、整備の遅

れている避難所については早急に進めることを求めました。

### 新しい 教育委員会制度

この改正の趣旨は、教育の政治的中立性、継続性を確保するため行うことです。

(1)教育行政の責任の明確化  
・教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新教育長）を置く。

・新教育長は、首長が議会の同意を得て、任命罷免を行う。

・新教育長の任期は3年とする（委員は4年）。

(2)総合教育会議の設置  
・首長は、教育委員会とで構成する総合教育会議を設ける。

・会議は首長が招集する。

(3)国の地方公共団体への関与の見直し。  
・いじめによる自殺の防止など、教育委員会

の対応が不適切な場合に、文部科学大臣が教育委員会に対して指示ができるよう（是正の指示）見直す。

(4)その他  
・現在の教育長は委員としての任期満了まで在職する。

・施行日は平成27年4月1日

## 福祉医療 常任委員会

委員長 小林 敏之

### 子育て支援対策

平成27年度より、私立幼稚園は幼稚園型認定こども園、公立認可保育園2園は新制度下の保育園、公立幼稚園は幼稚園に移行します。

平成28年度以降、全施設を認定こども園に移行するが、職員体制や給食など課題があり公立幼稚園3園と認可



幼稚園型認定こども園に移行する私立幼稚園

保育園2園を平成28年度より予定しています。へき地保育園は、将来の児童数や課題を勘案し判断します。

また、「特例給付」として扱われている場合、入園する子どもも新制度における認定が必要となるとの情報もあり、注視し選択肢の一つとしていきます。

平成27年度は、現状のまま運営します。

### 第4期障がい福祉計画

「総合支援法」に基づ

き計画を定めるもので、第4期障がい者福祉計画は、平成27年度から3年間となります。各関係機関の参画により委員会を設置し、計画内容を審議し計画に反映します。

**高齢者保険福祉計画及び介護保険事業計画について**

「老人福祉法」・「介護保険法」に基づく各計画を一体的に策定するものです。

高齢者保険福祉計画は、福祉サービスの見込量や供給体制の確保など、高齢者福祉事業全般に関する計画を定め、介護保険事業計画は、介護保険給付対象サービスや地域支援事業の見込量を定めるなど必要な事項を定めま

す。別海町総合計画と整合性を図り、高齢者や介護保険事業を総合的に推進し、地域包括ケ

アシシステム構築を進めます。



**現地調査 1月29日**

昨年12月17日、道東を直撃した低気圧の被害について海岸部を中心に調査しました。

床丹地区の斜路（船あげ場）にある砂の流出や堆積、ゲート板、鉄の支柱を捻じ曲げるほどの破損は、自然の脅威をみせつけていました。

現在、斜路は野付漁協によって対応済みです。

ゲート板などについては、道が26年度中に改修する見込みとなっています。

野付半島の木道も低気圧によって大きな被害を受けました。強い

波によって押し流された木道は、広い範囲に飛散し、回収については道議会で予算化されましたが、木道の復旧工事については、未定です。

**畜産クラスター事業がスタート**

国の政策による事業で、正式名称は「畜産収益力強化支援事業」「畜産競争力強化整備事業」です。

町内では、道東あさひ地域・中春別地域・計根別地域畜産クラスター協議会が設立されました。

「畜産クラスター」は協議会が選定する中心的経営体（酪農家・新規就農者・農作兼受託組織・個別経営体を含む）に対して収益力向上を目指した機械、施設の整備、環境問題などへの対応に対して2分の1を支援するものです。

統一的に酪農畜産を取り巻く離農問題などを解決しながら生乳増産と地域の底上げを図ることが目的です。本事業の円滑な進行と成果が期待され、当委員会としても更に調査を進めます。

**根釧酪農ビジョン策定される**

本年2月、10年後を目標とした根釧酪農・地域の将来像実現に向けた取り組みの基本方針が示されました。

安全・安心な食料生産、多様な担い手が支える安定した農業経営

地域資源と創意工夫を活かした幅広い連携などを目標にしています。

具体的

展開として、  
・草地型（循環型）酪農の推進・担い手育成確保・高付加価値化の推進と新たな可能性の追求があげられています。  
根釧全体の目標数値は・草地更新率10%／年・新規担い手確保数80人／年・所得：30円／生乳kg当りです。

将来像に向けて、関係機関・団体が互いに連携し、具体的な取り組みを推進することを明記しています。



地域の担い手として期待されている研修牧場を修了した研修生





安全・安心な給食を提供するため1つ1つ食材を確認する

学校給食センターは昭和45年に開設され、40年以上別海町の子どもたちに給食を提供してきています。現在は幼・小・中の21施設に対して1900食の副食を栄養士と11人の調理員で作っています。給食は、毎日が健康でいきいきと生活できるようにするため、食事、運動、休養の調和の取れた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。子どもたちにとって、バランスのとれた食事を摂り、合理的に栄養を摂取することは、健康な生活を送る上で基本となるものです。また、家族や友達と和やかに食事をすることは、豊かな心や望ましい人間関係の育成に、大切な役割を果たします。

別海町では、家庭における食の関わりを大切にするため、年に5回の「お弁当の日」を設定したり、地場産を使った「別海給食」を提供するなど、工夫をこらした献立づくりをしています。

これからも、子どもたちだけでなく、保護者や地域のみなさんに食育に関して興味をもっていただき、安心した給食の提供に努めていきます。

## 一部事務組合・広域連合 定例議会報告

平成27年2月27日、中標津町議事堂で開催されました。

27年度一般会計予算額と当町負担額は次の通りです。

根室北部消防事務組合 (別海町)	18億 393万円 5億8210万円)
中標津町外2町葬斎組合 (別海町)	1億4144万円 1120万円)
根室北部廃棄物処理広域連合 (別海町)	9億6390万円 2億5279万円)

## 編集後記

毎週荒れる天気、今年の冬は除雪作業で皆さん苦労されたことと思います。町の除雪予算も補正予算で対応し、例年の3倍の規模になりました。

今号は、現在の広報委員会が発行する最後の議会だよりです。

編集にあたっては、議案の審議の様子や採決結果などが伝わるように、研修で学んだことを取り入れ、わかりやすい紙面づくりを目指し工夫を重ねてきました。

次号からは、広報委員会は常任委員会になり活動範囲も広がります。更に魅力的な広報紙になることを期待します。(西原委員)



みんなの道路、ゴミのポイ捨てやめましょう!